

2025/26 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー 第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報

よいことの
ために
手を取りあおう

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粧

第2793回例会 2025年10月16日（木）

● **司会進行** SAA/平野会員・諏訪会員

● **点 鐘** 宮武淳 会長、**会報担当**/ 川島事務

● **ソング** われらの生業

● **お客様** 米山奨学生 魏 立春様、RI2790地区 米山記念奨学委員会 高橋 英雄様

特定非営利活動法人 BUMP-UP 代表理事 潤間 洋平様、火野 裕士様

公益財団法人 市原市スポーツ協会 副主幹 宮原正美様、市原中央RC 会長 北村謙介 様

● **会長挨拶** 宮武淳



皆さんこんにちは。

市原中央ロータリークラブ 会長 北村謙介様、

市原中央ロータリークラブ 米山奨学生

アイリーン様、R I 2790 地区米山記念奨学委員会 高橋
英雄様、特定非営利法人B U N P - U P 代表理事 潤間洋平
様、同 火野裕士様、当クラブ例会にお越しいただきまして、あ
りがとうございます。後ほど御挨拶をいただきますので、よろし
くお願いします。さて、今月は米山月間となっています。

そこで、本日は、当クラブの米山奨学生の孫さんと市原中央ロータリークラブの米山奨学生の
アイリーンさんに卓話をお願いしています。孫さん、アイリーンさん、よろしくお願いします。

なお、孫さんは10月21日に市原中央ロータリークラブで卓話を行なう予定になっていますので、
今日の卓話を踏まえ頑張って卓話をしてきてください。

次に、先日10月12日地区大会の2日目がありました。参加の皆様及びお手伝いに早朝から参加され
た皆様ありがとうございました。市原中央ロータリークラブの北村会長もお疲れ様でした。

また、10月11日に、地区大会表彰がありまして、当クラブは、・2024-25年度クラブ優秀賞

- ・100%ロータリー財団寄付クラブ・Every Rotarian Every Year クラブ
- ・End Polio Now COA・会員増強優秀クラブ・ロータリー財団年次寄付優秀クラブ
- ・ロータリー財団恒久寄付優秀クラブ・ロータリー米山記念奨学会寄付達成クラブ
- ・ロータリー米山記念奨学会寄付優秀クラブ・ロータリー米山記念奨学会功労クラブ

の10のタイトルの表彰を受けました。

個人表彰として10月12日に・角谷会員がロータリー財団メジャードナー

- ・西村会員がロータリー米山功労者メジャードナーの表彰を受けました。

角谷さん、西村さんおめでとうございます。

クラブ表彰については、前年の上野会長年度に会員の皆様のご協力によって達成できたものです。今年度も皆様のご協力を得て、角谷会長年度の地区大会で表彰を受けられるようにしたいと思います。10月4日にトイトイ食堂があり、私と、星さん、綿貫さんの3人で参加してきました。当日は夕方の開催でしたが、61世帯、73人の参加でした。

10月18日にもトイトイ食堂があります。クラブ管理運営委員会から野口さん、菊池さんに参加してもらうことになっています。よろしくお願いします。10月25日にRLIパートⅡもあり、大矢会員が参加予定ですので、よろしくお願いします。10月26日は、ポリオデーが館山であり、10月28日は、第4グループの情報ラーニングセミナーがあります。参加される方はよろしくお願いします。私は両方とも参加しますので、内容について報告したいと思います。

本日は、内容が盛りだくさんですので、以上で会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

● 幹事報告 檜垣昌宏幹事



まず10月11日12日の地区大会にご参加いただいた皆様ありがとうございました。会長のご挨拶にもありましたとおり当クラブは多くの表彰を受ける事が出来ました。

秋の献血奉仕活動についてです。11月10日(月)にアヅマ(株)本社の駐車場にて実施を予定しております。詳細は改めてご案内いたしますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に武田会員が本年3月にご入籍されましたので、クラブよりお祝いさせていただきます。おめでとうございます。

● 本日の司会進行 平野会員・諏訪会員



● 本日例会場 淡粋 鶏肉甘酢あんかけ美味しいです。



● お客様 BUMP-UP 代表理事 潤間 洋平様、火野 裕士様



11月23日上総更科公園にて日本まるごとゴミ拾いと題しましてイベントを開催いたします。

本イベントの趣旨と目的としてクリーン活動を実施。

次の世代へつなぐためのアクション

もしもに備える、生き抜く力を学んで実践

子供たちが安心して育っていける地域へこの3つのテーマにチャリティーイベントを開催します。

本趣旨にご賛同・ご支援お願い致します。

● メインプログラム

市原中央 RC 所属 米山奨学生 魏 立春様 地区 米山記念奨学委員会 高橋 英雄様

アイリーンさん本日は卓話よろしくお願いいたします。



台湾出身米山奨学生アイリーンです。

米山奨学生になった経歴などお話しします。

(別途参照)

市原 RC の皆様には米山記念奨学会へ

多くの寄付をして頂きありがとうございます。



市原中央ロータリークラブ会長北村です。

先日地区大会において市原 RC 様には大変ご協力頂き
ありがとうございました。

お陰様で無事終了する事ができました。

本日はそのお礼と

市原中央 RC 所属米山奨学生アイリーンさんの

卓話の応援に来ました。皆様宜しくお願い致します。

市原 RC 所属 米山奨学生 孫 文倩です。

皆さん、こんにちは。本日は、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。



1. 自己紹介

私は中国の浙江省・寧波市の出身です。

寧波は上海の南) に位置し、古くから海外貿易で栄えてきた
港町です。

唐や宋の時代から日本との交流が盛んで、遣唐使もこの港
を目指) して中国大陆に渡ったといわれています。

また、1983 年には京都の長岡京市と友好都市の盟約を結び、
今でも交流が続いています。私の故郷は、昔から日本と深

縁を持つ場所なのです。2. 私の家族

私の家族は、父、母、そして私の 3 人家族です。父はとても落ち着いていて頼りがいのある人で、
周りの人たちはいつも父を信頼しています。母はとても前向きで楽観的な性格で、

どんなことがあっても笑顔を絶やしません。20 年前に撮った家族写真を見ると、当時の幸せな記憶が
よみがえり、今でも私の心の支えになっています。

3. 日本との出会い

日本に興味を持つようになったきっかけは、海外で働く母の影響でした。

母はよく、外国での出来事や、さまざまな文化の中で出会った人々の話をしてくれました。その話を聞くたびに、「自分も世界を見てみたい」と思うようになりました。

特にアニメや映画などを通じて感じた日本の優しさや繊細な表現に魅力を感じ、「いつか日本で学びたい」という夢を抱くようになりました。大学では英語を専攻していましたが、第二外国語として日本語を選びました。日本語の授業を通して、日本の文化や価値観に触れ、ますます日本に興味を持つようになりました

2020年に大学を卒業し、オンラインで日本語学校に入学しました。

2022年に来日し、2024年3月に日本語学校を卒業。

同年4月から千葉商科大学に進学し、現在は研究活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルスの原因で、私は外で働いていた両親とも長い間会うことができず、日本への留学も延期せざるを得ませんでした。2020年から2021年にかけては、一人で自宅に残り、アルバイトをしながら日本語を独学しました。誰にも頼れず、不安な時期もありましたが、その時間が私にとって大切な成長の期間になりました。また、コロナ禍の中で、人々が感じる焦りや不安、そしてそれが仕事や生活に与える影響を身近に感じました。ニュースや周囲の話を聞くうちに、「自然災害やパンデミックのような非常時に、人々の心と行動はどう変わるのだろう」と強く関心を持つようになりました。この経験が、今の研究テーマを選ぶきっかけとなりました。



4. 現在の研究テーマ

私の研究テーマは「日本における海外従事者の考察 ― 家族への配慮が帰国意図に及ぼす影響について ―」です。日本では現在、外国人労働者の数が230万人を超え、過去最高となっています。

労働力人口の減少により、2040年までに600～700万人の外国人労働者が必要になるとも言われています。つまり、外国人材は今後の日本社会を支える重要な存在です。

しかし、地震やパンデミックのような災害時には、外国人労働者の出勤率や満足度が低下し、労働許可数も減少する傾向があります。また、孤独感や文化的な壁がストレスを高め、帰国を考える人も少なくありません。私はこうした現状を踏まえ、「家族への配慮」が外国人労働者の帰国意図にどのような影響を与えるのかを明らかにしたいと考えました。さらに、性別や年齢、文化的距離などがその関係にどのように作用するかを分析し、多文化社会における人材定着のヒントを探っています。

調査では、日本で働く外国人労働者を中心に約40名に半構造化インタビューを行う予定です。

また、比較のために海外で働く日本人の声も取り入れ、両者の違いを考察していきたいと考えています。この研究を通じて、企業や行政が海外人材とその家族へのサポートをより充実させ、多様な人々が安心して働ける環境づくりに貢献できればと思っています。

5. ロータリーとの出会い・思い出

私がロータリー奨学生としての生活を始めたのは、今年の4月からです。

市原ロータリークラブの皆さま、いつもカウンセラーに温かく迎えていただき、本当に感謝しております。ロータリーの皆さまとの会話を通して、日本の社会や文化について深く理解することができ、

私の視野も大きく広がりました。特に印象に残っているのは、平野カウンセラーとのやり取りです。ある日、クラブの紹介の中で、私は「中国では、あいさつのときによく『ご飯を食べましたか?』と言います」とお話ししました。それ以来、平野さんは、毎回私に会うたびに笑顔で「ご飯食べた?」と声をかけてくださるようになりました。そのたびに心が温かくなり、言葉の壁を越えた人と人とのつながりを感じます。

ロータリーでの交流を通じて、私は多くのことを学びました。

異なる文化や世代の方々との会話の中で、共感や思いやりの大切さを改めて実感しています。

これからもこの貴重なご縁を大切に、皆さまとともに成長していきたいと思っています。

6. 今後の展望・目標

これからの目標は、まず研究論文を完成させることです。

自分の研究を通して、多文化共生や海外人材政策の発展に少しでも貢献できるよう努力したいと考えています。将来的には、日本での就職を目指し、自分の語学力や異文化理解力を活かして、国と国、人と人をつなぐ架け橋になりたいと思います。そして、ロータリーで学んだ「奉仕の心」を忘れず、社会に恩返しできる人間として成長していきたいです。

7. 結びに

最後になりましたが、米山記念奨学会の皆さま、そして市原ロータリークラブ、市原中央ロータリークラブの皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまのおかげで、日本での生活や学びがより充実したものになりました。これからも感謝の気持ちを胸に、一步一步前に進みながら、社会に貢献できるよう努めてまいります。本日はご清聴、誠にありがとうございました。

● ニコニコ報告

市原中央 RC 北村会長・・・地区大会へのご協力誠にありがとうございました。

皆様のおかげで無事乗り切れました。感謝申し上げます。

地区米山委員会高橋様・・・アイリーンさんの卓話のお招きいただきありがとうございます。

今後も米山記念奨学会のご支援よろしくお願いいたします。

三木会員・・・ロータリーの例会日と誕生日が重なりましたので、八十八才ですが、

米寿ではありません・・・今後ともよろしくお願いいたします。

宮武会長・檜垣幹事・・・本日は R I 2790 地区米山記念奨学委員会高橋様、米山奨学生

アイリーン様、BUMP-UP 潤間様火野様市原市スポーツ協会副主幹宮原様、

市原中央 RC 北村会長たくさんの方にご来訪頂きまして、ありがとうございました。

● 本日出席報告

出席者：39 名

欠席者：50 名

出席率：45.35%